〔指導項目〕

(1) メディアと情報社会

ア　メディアの機能

イ　メディアの活用

(2) メディアを利用したサービス

ア　メディアを利用したサービスの機能

イ　メディアを利用したサービスの活用

(3) メディアを利用したサービスの役割と影響

ア　メディアを利用したサービスと情報社会との関わり

イ　メディアを利用したサービスと情報産業との関わり

3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　実習を効果的に取り入れ，メディアを利用してコンテンツを提供するサービスの全体像について考察するよう留意して指導すること。

イ　生徒や地域の実態，学科の特色等に応じて，適切なコンテンツ開発環境及びコンテンツ管理のための適切なシステムや運用サービスを選択すること。

(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。

ア　〔指導項目〕の(1)のアについては，多様なメディアの定義と特徴について扱うこと。イについては，メディアを活用している身近な事例を取り上げ，利用者の目的や状況に合わせたメディアの適切な選択について扱うこと。

イ　〔指導項目〕の(2)のアについては，社会で用いられているメディアを利用したサービスの種類と特徴について扱うこと。イについては，メディアを利用したサービスを分析する実習や新たなサービスを企画し提案する実習を行うこと。また，センサなどと組み合わせたサービスについても触れること。

ウ　〔指導項目〕の(3)のアについては，メディア及びメディアを利用したサービスの変遷と今後の展望について扱うこと。イについては，メディアを利用したサービスが情報産業として成り立つための条件について扱うこと。

第12　情報実習

1　目　標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動

を行うことなどを通して，情報産業を担う情報技術者として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 情報の各分野について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 情報の各分野に関する課題を発見し，情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 情報の各分野に関する課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，情報システムの開発やコンテンツの制作及びこれらの運用などに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2　内　容

1に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) 情報システムの開発のプロセス

ア　情報システムの開発の概要

イ　情報システムの設計

ウ　情報システムの開発と評価

エ　情報システムの運用と保守

(2) コンテンツの制作のプロセス

ア　コンテンツの制作の概要

イ　要求分析と企画

ウ　コンテンツの設計と制作

エ　コンテンツの運用と評価

(3) 実習

ア　情報システムの開発実習

イ　コンテンツの制作実習

ウ　情報システム分野とコンテンツ分野を関連させた総合的な実習

3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　課題解決に向けた計画の立案や実習を通して，情報システムの開発，コンテンツの制作などの一連の工程を理解できるよう留意して指導すること。その際，知的財産権の扱いにも配慮すること。

イ　生徒や地域の実態，学科の特色等に応じて，〔指導項目〕の(1)及び(2)から1項目以上を選択するとともに，(3)のアからウまでの中から1項目以上を選択し，実習を行わせること。その際，具体的な課題を設定し，